

2つの農園が経営統合～目標は農業の魅力発信～

仙台市若林区荒浜地区にある平松農園の平松希望さんと(株)仙台あぐりる農園の小倉真紀さんは、令和5年3月に経営統合した。統合後は仙台あぐりる農園の代表取締役役に平松さんが就任。約1畝の農地にサツマイモや枝豆、落花生、オクラなどを栽培しながら、新たな一步を踏み出す。

二人の就農のきっかけは、東日本大震災の被災地でのボランティア活動だ。被災地で就農し、農機具を共同利用しつつ営農していたが、「経営を一本化して、地域の方々と一緒に、今後の地域農業の在り方を考えたい」との思いで統合に踏み切った。

就農直後は、津波で被災した圃場がれきが残り、病虫害や気候の大きな変化に振り回された。

苦労が続いたが、地域の人々にも支えられた。ベテラン農家が語った「失敗から素直に学び、人から教わり、次に活かすのが大事」を教訓としている。

今後の目標について「栽培技術をしっかり習得したい。地域の未来について、お世話になった方々と一緒に考え、農業の魅力を伝えたい」と二人は話す。

平松さん（画像左）と小倉さん



【記事提供】仙台市農業委員会